

# 第6学年 国語科学習指導案

令和2年1月29日(水) 第6校時  
6年1組 児童34名 指導者 山本 美佐

- 1 単元名 将来の夢や生き方について考えよう  
教材名 「プロフェッショナルたち」(東京書籍6年)

## 2 単元について

### (1) 児童観

児童は、説明文の学習「イースター島にはなぜ森林がないのか」で文書に対する自分の考えをもつこと、「新聞の投書を読み比べよう」で書き手の工夫について読み取り、自分の考えをもつことを学習している。本単元は、文章に書かれた人物の生き方から、自分の将来の夢や生き方を考え、その自分の考えを広げ深めていくことをねらいとしていて、6年間の総決算ともいえる学習である。外国語活動の「What do you want be?」単元でも、自分の将来の仕事や職業について考える学習をしており、まもなく中学へ進学する児童たちにとって関心が高いテーマだといえる。

そこで、本単元の学習は自分の将来の夢や生き方について主体的に考える機会としたい。いろいろな分野で活躍しているプロフェッショナルたちの生き方を読み取り、そこから得る情報も重ね合わせながら、自分の生き方を考えてほしい。また、2学期末に卒業DVD制作に向けて一人ひとりが自分の将来の夢を書く活動をしたが、自分とは違う友だちの考えにも触れ、漠然としている自分の将来の夢や仕事や生き方に対しての考えを広げたり深めたりできることを期待したい。これからの高度情報化社会を生きる子どもたちにとって、膨大な情報の中から必要なものを見出し、自分の考えを形成することはとても大切な力である。教材文や参考図書の要旨をとらえながら、集めてきた情報をもとに自分の考えを広め、深める力も高めていきたい。

### (2) 単元観

本教材「プロフェッショナルたち」は、自分の仕事に誇りと使命感を抱きながら日々汗を流している3人のプロフェッショナルが登場する。教材文は頭括型の文章であり、結論部の段落はなく、文章の要旨は序論部に述べられている。3人それぞれの事例で、仕事や人物の紹介、その仕事を目指した動機、仕事での失敗や困難な出来事、そしてその時にどう考え、どう行動したかが述べられて、最後に生き方(プロフェッショナル観)がその人物の言葉として添えられている。

本単元のねらいである「自分の考えを広げ深める」ために、まず3人のプロフェッショナルの生き方について読み、それぞれどのような失敗や困難に直面して、どう考え、どう行動したのかを読み取らせる。同時に、図書資料やネット資料を使って、将来の夢や生き方と関連した情報を見つけさせる。集めた情報から、プロフェッショナルについての自分の考えと将来どんな夢を持ち、どんな生き方をしたいかについて、自分の考えを書かせていく。また、資料を含めて様々な文章を読むことにより、ものの見方や考え方を深めさせていきたい。見方や考え方が「広がる」とは、「〇〇だと思っていたけれど、この話を読んでもみると△△だとも思えるようになった」というように、見方や考え方そのものが増えていくことであり、「深まる」とは、その見方や考え方の根拠となるものが増えていくことや、別の視点から見直すことができるようになることだと捉える。

本単元の学習は、プロフェッショナルについての自分の考えと、将来どんな夢をもつてどんな生き方をしたいのか、というテーマについて一人ひとりが文章にまとめ、それを卒業前に文集で発表し合うという言語活動、及び単元のゴールを設定する。

### (3) 指導観

本単元は、重点指導事項を学習指導要領【C読むこと(1)オ】「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」である。

第一次では、まず「プロフェッショナル」という言葉の意味を考えさせた後、単元のゴールとして自分たちの将来の夢や生き方を書いたものを文集にまとめることを伝え、教師が作成したモデル文を提示することで単元のゴールイメージと学習の見通しをもたせる。また、並行読書をする

る本を紹介することで児童の興味を広げて、自分の将来の夢について考えるという学習課題をもたせる。

第二次では、主教材「プロフェッショナルたち」で登場する3人のプロフェッショナルたちの仕事・その仕事をした動機・失敗や困難な出来事・生き方（プロフェッショナル観）について、頭括型の説明文の構成をつかませた上で読み取らせたい。次に、3人のプロフェッショナルたちの共通点や相違点を見つけさせる。共通点は要旨をとらえることにもつながるため、3人を対比できるように同じ形式で整理していくことで、文章の内容を的確に読み取らせたい。さらに、並行読書として使った図書館やインターネットの資料の情報から、自分に必要な情報を選び、同じ形式でまとめていく。それらの情報から自分とのつながりを考えるという言語活動を仕組むことで、要旨を押さえることができるだけでなく、構成を考えて自分の考えを書くことができると考える。

第三次では、自分の考える将来の夢やプロフェッショナルとは何かということを、読書で得た情報をもとに、相手に分かりやすく文章に書き表していく。その際、2学期教材「町の幸福論」で学習したバックキャストिंगの考え方を使わせたい。バックキャストिंगの考え方で未来イメージを描き、その未来から現在を振り返ってやるべきことや目標を見つけていく方法を使うことにより、現在からの道筋やしたいこと、そして生き方が、児童にとってより主体的で具体的な事柄になると考える。

本時では、3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方の共通点を見つけさせ、自分が調べたプロフェッショナルたちと比較しながらプロフェッショナルについての自分の考えをまとめさせる。それぞれ違う職業の3人を比較しプロフェッショナルとは何かというキーワードを見つけた後、自分の将来の夢と重ね合わせながら自分が大切にしていきたいキーワードを考えていく。順序だてて一つひとつ考えていくことで、プロフェッショナルとは自分とかけ離れた特別なものではなく、自分自身を含め誰もが当たり前を目指せるものであることや、夢に向かって生きていくことの大切さなども感じてほしいと考える。

### 3 単元の目標

- 文章を読んで、そこに書かれた人物の生き方や考え方から、自分の将来の夢や生き方について考えることができる。

～はりまや橋小学校 「学校図書館の活動を通して付けたい力系統表」より～  
【情報の整理】情報を比較，対象，分類し，自分たちの考えを整理する。

### 4 重点指導事項

- 【C(1)オ】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。

### 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現 【 C 読むこと 】	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の夢や生き方と関連した資料を集め、内容を整理しまとめようとしている。 【(2)イ】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「読むこと」において、それぞれのプロフェッショナルたちの仕事に対する思いや考えなど読み取り、それを基に自分の考えをまとめている。 【(1)オ】</li> <li>○ 「読むこと」において、3人のプロフェッショナルたちの生き方と自分の夢を重ね、プロフェッショナルとは何かという自分の考えを共有し広げている。 【(1)カ】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プロフェッショナルたちの人物像や生き方に興味を持ち、自分の将来の夢や生き方と重ねて考え、文章にまとめ伝えようとしている。</li> </ul>

6 学習指導計画（全11時間）

次	時	学習内容	評価			
			知・技	思判表	態度	評価規準 【評価方法】
一	1	○学習の見通しをもつ。 ・プロフェッショナルとはどんな人なのかを考える。 ・教師が作成したモデル文を見て、学習の見通しをもつ。				
二	2	○「海獣医師 勝俣悦子の仕事」を読む。 ・どんな仕事に取り組んでいるのか、どんな思いや考えをもつて仕事に取り組んでいるのかをまとめる。			○	勝俣さんがどんな仕事に取り組み、どういう生き方をしてきたのかを仕事・動機・困難・考え方という観点別にまとめている。【発言・ワークシート】
	3	○「板金職人 国村次郎の仕事」を読む。 ・どんな仕事に取り組んでいるのか、どんな思いや考えをもつて仕事に取り組んでいるのかをまとめる。			○	国村さんがどんな仕事に取り組み、どういう生き方をしてきたのかを仕事・動機・困難・考え方という観点別にまとめている。【発言・ワークシート】
	4	○「パティシエ杉野英美の仕事」を読む。 ・どんな仕事に取り組んでいるのか、どんな思いや考えをもつて仕事に取り組んでいるのかをまとめる。			○	杉村さんがどんな仕事に取り組み、どういう生き方をしてきたのかを仕事・動機・困難・考え方という観点別にまとめている。【発言・ワークシート】
	5・6	○図書館やインターネットで、資料を調べる。 ・自分の将来の夢や職業、生き方に関する情報を見つける。		○		3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方を参考に、図書館資料やインターネットで調べた資料の情報の中から類似する点を基にして、順序立てて情報を整理している。 【行動観察・ワークシート】
	7	○図書館資料やインターネットで調べた資料を整理し、まとめる。 ・自分の将来の夢や職業、生き方に関して集めた情報を整理し、将来の夢や生き方について、自分考えをまとめる。			○	将来の夢としている仕事に関連する資料を読み、その夢を実現するための生き方として大切な情報を整理し、プロフェッショナルについての自分の考えを広げている。【ワークシート】
	8 (本時)	○プロフェッショナルたちの生き方や考え方を比較し、自分の考えをまとめる。 ・プロフェッショナルたちの生き方や考え方を比較しながら共通点を見つけ、得た情報を整理しながらプロフェッショナルについての自分の考えをまとめる。			○	3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方の共通点を見つけ、自分の夢やめざす生き方と比較しながら、プロフェッショナルについての自分の考えをまとめている。 【発言・ワークシート】
三	9・10	○自分の考えを文章にまとめる。 ・自分はどんなプロフェッショナルになりたいか、どんな生き方をしていきたいかを考え文章にまとめる。			○	プロフェッショナルたちの人物像や生き方に興味を持ち、自分の将来の夢や生き方と重ねて考え、文章にまとめようとしている。【原稿用紙】
	11	○文集にまとめ、発表して交流し合う。 ○単元を振り返る。			○	プロフェッショナルについての自分の考えを交流し、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 【行動観察・ノート】

7 本時の学習 (8/11)

(1) 本時の目標

○プロフェッショナルたちの生き方を比較し、プロフェッショナルについての自分の考えをまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

**読** 3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方の共通点を見つけ、自分の夢やめざす生き方と比較しながら、プロフェッショナルについての自分の考えをまとめている。

(3) 達成基準 (ルーブリック評価)

A	B
教材文3人の生き方と並行読書によって得た情報を整理し、プロフェッショナルたちの生き方に重ねて自分の夢やめざす生き方についての考えをもつことができている。	教材文3人の生き方と並行読書によって得た情報を整理し、自分の夢やめざす生き方についての考えをもつことができている。

(4) 準備物

・ワークシート ・並行読書資料

(5) 学習の展開

	主な学習活動〔学習形態〕 ・予想される児童の反応	○指示・支援等 □【評価方法】 ★支援を要する児童への手立て
つかむ⑤	1 3人のプロフェッショナルたちの仕事を振り返る。 2 学習課題を確認する。	○ 背面に掲示している学習マップをもとにして確認させる。
プロフェッショナルたちの生き方や考え方の共通点は何だろう。		
自分の考えをもつ⑮	3 3人のプロフェッショナルたちの共通点を考える。 ・ 3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方から、プロフェッショナルとなるキーワードを考える。	○ 3人のプロフェッショナルたちの共通点を具体的に比較させることで、いずれも困難を克服したことでプロフェッショナルとして認められていることなどに気づかせる。 ○ 仕事の内容が異なっても、仕事に対する考えや思いに共通するものがあることに気づかせる。
広げる⑳	4 自分の将来の夢に関する資料の中で得た情報から、3人のプロフェッショナル達と共通する考え方や生き方を考える。	○ 3人のプロフェッショナルたちの共通点として出てきたキーワードや同じ形式でまとめた自分の将来についてのワークシートを参考に、自分が大切にしていきたい考え方や生き方(プロフェッショナル観)を考えさせる。 <b>読</b> 3人のプロフェッショナルたちの生き方や考え方の共通点を見つけ、自分の夢やめざす生き方と比較しながら、プロフェッショナルについての自分の考えをまとめている。
振り返る⑤	5 本時の学習を振り返る。	○ 振り返りの視点を確認し書かせる。

(6) 板書計画

将来の夢や生き方を考えよう

プロフェッショナルたちの生き方や考え方の  
共通点は何だろう

私が考えるプロフェッショナルとは

パティシエ  
杉野英美

- ・断られてもあきらめない
- ・新しいことに挑戦する
- ・妥協しない
- ・努力を続ける

板金職人  
国村次郎

- ・試行錯誤を続ける
- ・あきらめない
- ・努力を続ける
- ・どんな仕事も引き受ける

海獣医師  
勝俣悦子

- ・失敗してもあきらめない
- ・誰もやったことがないこ  
とに挑戦する
- ・強い覚悟をもつ

- ・あきらめない
- ・努力を続ける
- ・追求し続ける
- ・新しいことに  
挑戦する

振り返り

- ・続けることやあきらめない気持ちを持ち続けることで、夢をかなえる  
ことができる
- ・全てのプロフェッショナルに共通することがある
- ・特別なものではなく、生き方や考え方を变えることでだれにでも可能  
性はある

(7) 評価の視点 (はりまや橋小学校授業づくりスタンダードより)

- ①つけたい力が身についた問題・活動内容だったか。
- ②問題解決の意図と道筋を正しく理解していたか
- ③目標達成に向かう展開・指導になっていたか (本時重点目標)
- ④対話と協働が個々の学びにいかされていたか
- ⑤自己変容について規準に沿って振り返っていたか